

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスIROHA				公表日		令和7年4月23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・設置基準は満たしています。 ・利用者が1部屋に偏らないようにグループを分けて使用している。 ・子ども達が大きくなってきて、日によっては手狭になることもあるため、外活動のグループを取り入れるなどして過ごしやすい環境作りを考えています。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・人員基準は満たしていますが、外出レク等その日の活動やお子様の状態によって、必要な人員の調整を随時行っています。 ・それぞれの部屋で職員の偏りがないようにその都度声を掛け合っています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・設備基準は満たしています。トイレや階段など必要な部分は手すりを設置しています。 ・基本的に利用者が使用する場所に危険な物は置かないようにしています。階段やキッチンにはゲートを設置しています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・お子様の人数に応じて部屋の配置を行っています。お子様が1人になりたい時などは状況に応じてクールダウンの部屋を利用してもらっています。 ・プレイルームや学習室にはジアイノ(空間除菌脱臭機)を設置し、室内やおもちゃの次亜塩素消毒も実施しております。	・お子様がクールダウンを必要とする際の人員配置などは職員間で連携してすべてのお子様心地よく過ごせる環境の配慮を徹底します。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・クールダウンができる部屋を用意しており、お子様の状況に応じてその部屋を使用できるようにしています。	・使用したい部屋も限られているので、今後は新たにパーテーション等も活用して状況に応じた個別の空間確保を検討しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・毎日の振り返りや月2回のミーティングで業務改善についても話し合いを行っています。申し送りノートも活用し、情報共有を図っています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・毎年自己評価実施後保護者の以降に応じて対策、改善に努めています。 ・毎年ブログサイトに公開しています。 ブログサイトはこちら📄 https://ameblo.jp/iroha0201-2020/	・評価結果をもとに、改善が必要な点については早急に対応を図りたいと思います。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・定期的に職員と個別で面談して、仕事に対する悩みや不満等がないかを話し合う機会を設けています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・定期的に支援技術等に関する社内・社外研修を行っています(社内研修は月1回程度)。 ・外部研修も取り入れながらたくさんの方で幅広く学べるようにしています。				

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・5領域に応じた支援プログラムをともに、それぞれのお子様にあった支援を行っております。支援プログラムについては「IROHAのログ」と「LITALICO発達ナビ」にて公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・ABAの考え方にに基づき、一人ひとりの行動観察を行った上で支援計画の作成を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・サービス計画は児童発達支援管理責任者を主として、現場の職員と話しながら現時点で一番必要な課題は何かを検討して作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・サービス計画は全職員が都度確認して支援にあたっています。サービス計画に記載している目標や課題をもとに支援をしています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・アセスメントシートを作成し、支援に反映させています。	・特に緊急性の高い事例については、個別に課題行動に特化したモニタリングを行い課題行動の克服にむけて取り組んでいます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・将来の地域移行を見据えて今できることをサービス計画にあげています。現在は該当のお子様はいませんが、日常生活動作の獲得をはじめ、趣味を広げたり自分で過ごす力を身につけられるように支援しています。 ・移動手段の練習を個別同行して行うなどお子様に適した支援をしております。 ・必要に応じてご家族への相談支援等も行ってまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・職員間で相談して、月間の活動プログラムを作成しています。 ・プログラムに偏りがないう、職員間でアイデアを出しあえる環境作りを行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・毎月日替わりのプログラムを作成しています。 ・子どもに合わせた活動ができるように話し合う事ができ改善されています。 ・お子様達が主体となって活動を計画する機会も取り入れています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・職員と1対1でのトレーニングや、2～3人の少人数での活動など、お子様の状況に応じたグループでの活動計画を立案しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎朝ミーティングを実施しお子様の情報を共有し支援の統一を図っています。 ・常勤のみ終了後の報告、打合せ、振り返りを共有しています。共有事項を申し送りノートに記入しているので全スタッフがそれを確認し役割分担をもとに支援を行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・常勤のみ終了後の報告、打合せ、振り返りを共有しています。共有事項を申し送りノートに記入しているので全スタッフがそれを確認し役割分担をもとに支援を行っています。 ・緊急課題については、その日のうちにミーティングを行っています。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・支援計画に沿って、お子様の毎日の行動記録をとっています。 ・常勤が記録を行っているが、全スタッフがそれを見ることで支援の振り返りが出来るようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・それぞれのお子様の支援目標について定期的に会議を行い、日々の行動記録をとりながら支援計画の策定を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	0	・日々のプログラムの中に、創作活動や運動レク、外出レクなどを計画し、様々な体験ができるように工夫しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・お子様が意思表示が適切に行えるように支援をしています。お子様に応じて絵カードなどの道具も活用しています。また、イロハでの活動を通して、あらゆる場面で自己決定の練習ができる機会の提供を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者をはじめ現場でお子様を支援している児童指導員等が参加し、対応しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・必要に応じて医療施設、教育機関（学校）、他の福祉施設との情報共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・学校での様子については必ず引継ぎを行うようにしています。必要に応じて書面でのやり取り等も行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・保護者の方から、保育園や幼稚園での様子を聞き取りさせていただいています。	・今後は就学前の施設との連携を積極的に図っていきたくと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・現在対象のお子様はいませんが、近く対象となるお子様もいらっしゃるため、適切に対応できる体制を構築していきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・高学年のお子様については、毎週金曜日地域のお子様と交流する機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	・児童支援部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時や連絡帳を通じて、共有を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・支援方法など、ご家庭で般化できることについては保護者の方にお伝えし、支援の共有化を図っています。	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・利用契約時に細かく説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・サービス提供をするにあたり、事前に保護者様に支援の方向性を伝え、了承していただくように務めております。お子様に対してもサービス計画を説明しながら本人主体で行えるように心がけております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・サービス計画を策定後、その都度保護者の方へご説明しております。対面での説明の際には書面の内容をより具体的に説明できるように心がけております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・随時、相談に応じています。 ・担当職員が相談に応じ保護者に寄り添いながら改善に努めています。	

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	・令和6年度、はじめて保護者会を開催しました。なかなか保護者同士で話す機会も少なかったと思われるため、有意義な会となりました。	・今後も保護者会を定期的で開催する予定です。保護者同士のふれあいの場としては勿論ですが、必要であれば研修会を開催するなど更に有意義なものにしていけるようにしたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・トラブルが発生した場合、原因と今後の対策を協議し、お子様や保護者の皆様に理解していただけるよう丁寧に対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・ブログにて、お子様たちの活動の様子を紹介しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・厳重に管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・お子様の状態に応じて個別の支援ツールを使用しています。	・お子様の成長と共に意思伝達ツールも変わってくることも想定されるので、定期的な職員支援会議で改善案があれば改めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・お子様たちが製作した作品を届けるなどして、近隣の方との交流を図っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・各マニュアルは作成しています。	・ご家族への周知方法については検討してしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画（BCP）を策定して、計画に基づいて避難訓練等災害に備えた訓練をしています。	・あらゆる災害を想定した訓練をしていきます。また、訓練が固定化しないように工夫していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・服薬があるお子様もいらっしゃるため、厳重に管理して適切なタイミングで服薬できるようにしています。服薬時は必ず職員が付き添って完了するまで見守りするように徹底しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・アレルギーのあるお子様については、保護者を経由して医師からの指示内容を共有し対応しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画に基づき必要な研修については参加するようにしています。今後も施設の設備や事故防止につながる訓練、研修を行って参ります。	・施設内や送迎車、送迎ルートなどの安全点検は定期的に行い、改善点があれば速やかに改善していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハット事例は、報告書を作成し職員間で共有、周知徹底し再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・定期的に虐待防止の研修を行っています。虐待防止の基本的な知識をはじめ、イロハで起こりうるリスクも考えた会議にしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・現状、身体拘束を行う状況がありませんが、その様な場合に適切に対応できるよう備えたいと思います。		